



協体あさふ

「藤沢市体育協会広報」第27号

発行日 平成6年7月31日
発行・編集 藤沢市体育協会
〒252 藤沢市遠藤3172 秋葉台文化体育館内

『明日への活力』

藤沢市スポーツ振興審議会

会長 丸山 紀久男



型に入った活動は青少年にとって個性、創造性の発見、認識のためのスタートになり、基盤になり得るのです。青少年に限らず言える事だと思っています。スポーツ振興は大切な人づくりになるのだと思います。

私は少年期よりスポーツに対する

広島のアジア大会が近づき国内のスポーツに活気が出てきました。先の陸上・水泳の日本選手権でも日本新が続出したり、若手選手の台頭に目をみはり喜ばしい限りです。

一方、先日のNHKテレビでトリアスロンの大会にアメリカより身障者である息子と、54才の父親が一緒になって参加している映像が目にとまりました。ゴムボートに息子をのせて泳ぐ姿、二人乗り自転車で落さないよう気遣いながらペダルをこぐ真剣なまなざし、車イスを押し、あえぎながらゴールしたときの父親の逞しい息づかいと息子さんの笑顔。スポーツの感動が凝集されていました。組織委員会の事前の準備、運営そして、地元の方々の心暖まる声援が一体となってこの感動を創造したのです。

勿論、行政や支援団体もあります。平成十年の神奈川国体開催のため準備がスタートしております。神奈川県らしい夢のある国体にしよとの意気込みがすでに伝わってきています。競技をするからには良い選手を養成し成果をあげる感激もあります。しかし、これを契機にスポーツの良さが市民・県民に理解され、浸透していったなら生涯スポーツ、市民スポーツの基盤づくりになると期待できるのです。身障者のスポーツ、高齢者のスポーツ、楽しむスポーツ、体力づくり等々もふくめ、それぞれにからだを躍動させ汗をかくことは人の心を開かせ、広く人々のふれあいの輪がひろがります。

近年、高度に成熟した社会の中にあって、価値観の多様化が進み豊かな個性、創造性が求められています。しかし、反面で青少年にあっては確たる明日への夢が持たず悩み、迷走し埋没してしまうケースも多いとも言えます。スポーツにはルール、マナーが当然あります。迷走せずこの

あこがれは強くありましたが、厳然とした組織に入ることの恐怖が先になり、自分自身の弱さに負けていたのです。大学に入って弱小の部活動であったことが救いとなってアイスホッケー部で活動することが出来ました。試合に勝つことも殆んど無かったが、あこがれていた通りのスポーツのすばらしさに出会えたのでした。教員として中学校に入ってもスポーツを通して子ども達と共に汗を流し続ける事ができました。この間出会った子ども達はそれぞれの分野で、スポーツで培われた活力を秘めて活躍していると感じています。

市民のために組織され、市民スポーツを広く統轄されている市体育協会は、先の秩父宮記念体育館改築に際しても市民ニーズに答えられるものにしよと綿密な意見書を提出して戴きました。スポーツを愛する市民を支えて下さっているのだと感銘しました。スポーツは明日への活力です。今後とも市体育協会のご発展とご尽力に期待しております。

種目協会 あらかると

インドネシア国での ソフトテニスの普及に活躍

藤沢市ソフトテニス協会

海外で、ソフトテニスを普及する
には、ラケットやボールを持参し、
長期間滞在して普及対象者にソフト
テニスを根気よく理解してもらうこ
とが重要であるが、このような初期
活動を日本の庭球連盟に求めても現
状では困難であろう。この点、ソフ
トテニスを愛好する長期出張者が、
本務の余暇を利用して普及活動を実
施してくれたら好都合である。実際
国際協力事業団(JICA)の派遣専
門家が、任国で本務の傍らソフトテ
ニスの普及に務めた例がある。任国
の人々と親睦が深まり、業務の遂行
が円滑となり、さらに専門家の健康
増進にも繋がるので、そのような活
動はJICAも理解してくれよう。

誌上に報告された例では、多くを知
らないが、ザイルルにおける片瀬貴
文鉄道専門家(1978年)ドミニカ
共和国での橋本貞夫教育専門家(1
987年)がある。藤沢ソフトテニ
ス協会の例では、インドネシアに
おける亀山昭一医療協力専門家(1
982年・1988年)及び、クエ
トでの西村茂雄通信技術専門家(1
986年)がある。

ここでは亀山昭一氏が行った、イ
ンドネシアでの普及とその成果を簡
単に紹介する。



著者を歓迎する
女子選手のジャワダンス

1980年、保健省の中央生物医
学研究所(CBR・コート2面所有)
職員を普及対象とし、週一回の練習
日を設けた。持参したラケット・ボ
ールは多くの藤沢協会のメンバー、県
内有志の方々、東工大・石井源信教
授から寄贈されたものである。

1980年、CBR職員を中心に
ジャカルタソフトテニス協会(JA
STA)へ会長：保健省局長Loedji
ne博士)次いでインドネシアソフ



JASTAのEdhie氏(左端)と
ジュニア選手

トテニス連盟(JASTA)へ副会長：
スポーツ省青年局長Djaelani
Mardana)が設立、その後日連
(林・西村理事)中華民国網球協会主
副会長らのご支援を頂き海外試合に
参加するようになった。

1983年第5回世界軟式庭球選
手権大会(台中市)にオブザーバーと
してではあるがJASTAから、E
dhie事務局長他2名の会員が招
かれ参加した。1988年アジアソ
フトテニス協会加盟、第一回アジア
ソフトテニス選手権で女子チームが
コンソレ(敗者復活戦)ながら優勝し
た。又、JASTAは第2回アジア選
手権大会を同国バリーで開催するなど、
普及がめざましく、当協会の誇れる
活動の一つである。

秩父宮記念体育館改築に伴っての会議室の利用は

施設名	収容人数	料金	利用方法
秋葉台文化体育館 TEL:88-1111	20人・100人	150円~300円	前月の15日から先着順 申込と同時に入金
青少年会館 TEL:25-5215	48人・18人・24人	無料	登録などあるので利用さ れる方は電話を。
各市民センター 各公民館	30人・40人・50人 和室等	無料	直接来館をして、手続き をとる。
労働会館 TEL:26-7811	18人・14人・36人 54人 和室	200円~400円	電話で仮予約して、直接 申請手続きを。
市民会館 TEL:23-2415	16人・36人・60人	250円~400円	3ヶ月前から受付。仮予 約後1週間以内に入金。
藤沢産業センター TEL:21-3811	10人~60人	700円~4600円	6ヶ月前から電話又は直 接申し込み、入金。

※いずれも詳しくは、電話でお問い合わせ下さい。

☆料金は1時間につき

応援 しましよつ



都市対抗野球大会に藤沢市代表とし
ていすゞ自動車野球部が出場
7/24 11時30分 対ヤオハンジャパン(沼津市)
於 東京ドーム

平成5年度藤沢市体育協会事業報告

月・日	事業名	月・日	事業名
4月6日	臨時常任理事会	1月20日	第5回常任理事会
4月27日	第1回理事会・評議会	平成5年度藤沢スポーツ賞選考委員会	
5月13日	体協三役うち合わせ	1月22日	第5回種目協会会長会
5月15日	先進市体育協会視察(鎌倉市)	2月1日	第4回理事会
6月4日	第1回理事会	2月19日	第9回スポーツ人の集い
6月27日	茅ヶ崎市、平塚市体育館視察	講師「嶋岡健治」氏	
7月1日	第1回常任理事会	《藤沢スポーツ賞》	
7月23~24日	平成5年度補助金交付	☆特別功労者賞…中山二郎	
7月27日	第2回常任理事会	☆功労者賞…黒田 裕	
8月10日	第24号ふじさわ体協発行	優秀選手賞…佐藤利香、浄法寺しずか、武田淳子、芳野聡、吉田由佳、野上敬子、斉藤愛子、三部ゆうき、小川美紀、小菅春由、県総体女子バレーボールチーム、武田薬品湘南女子卓球部、県総体クレ射撃チーム	
8月12日	秩父宮記念体育館改築に伴う話し合い	☆会長賞…第42回全国青年女子バレーボール藤沢市チーム	
8月26日	会長(市長)との話し合い	☆敢闘選手賞…二宮祥浩、藤沢スカイバレーボールスポーツ少年団、藤沢市立第一中学校サッカー部、川口文枝、木村研治、山口聡、藤田佳也、川内道雄、湘南フジクラブ、黒田丈治、湘南工科大学付属高等学校体操部	
9月5日	市民総合体育大会		
9月5日	地区対抗本大会		
9月5日	平成5年度体力づくり運動推進功労者表彰(推薦)中嶋英司(陸上競技) 船水孝(野球) 有田昭治(バレーボール) 井上仁一(卓球) 小林俊一(柔道) 永島修治(剣道) 渡邊武司(バドミントン) 竹内俊樹(ソフトボール) 藤方富士夫(空手道) 山本義雄(ラグビー) 廣瀬稔(テニス) 設楽孝治(ハンドボール)		
9月30日	第3回常任理事会	3月25日	第6回常任理事会
10月1日	藤沢市表彰条例に基づく表彰(推薦) 中山二郎、柳川賢(体育協会) 瀧川一輝(陸上競技) 椿 薫(野球) 原弘之(剣道) 糸井勝治(柔道)	3月31日	第26号ふじさわ体協発行
10月25~27日	国体視察(徳島県)	◎第48回藤沢市民総合体育大会	
11月3日	教育文化功労者表彰(推薦) 瀬戸満里子(バレーボール) 田中淳子(ソフトテニス) 藤田敏太郎(剣道) 二挺木幸雄(柔道) 山口武(空手道)	地区対抗競技参加者数	3,894人
11月16日	第4回常任理事会	オープン競技	6,460人
11月30日	第25号ふじさわ体協発行	総参加者数	10,354人
12月2日	臨時拡大常任理事会	☆総合優勝	中里地区
12月17日	第3回理事会	準優勝	高谷地区
		第三位	湘南各地区
		◎第44回神奈川県総合体育大会	
		☆種目別優勝	女子バレーボール
			クレ射撃
		☆総合成績	藤沢市準優勝

平成5年度藤沢市体育協会収支決算報告

1. 収入の部

(単位 円)

項目	予算額	補正額	予算現額	収入済額	増減	摘要
体協費	17,080,000	0	17,080,000	17,137,706	57,706	
体協費	17,080,000	0	17,080,000	17,137,706	57,706	
補助金	5,680,000	0	5,680,000	5,680,000	0	
委託料	8,903,000	0	8,903,000	8,903,000	0	
賛助会費	1,450,000	0	1,450,000	1,483,000	33,000	個人271口 団体67口
負担金	555,500	0	555,500	557,500	2,000	
繰越金	341,812	0	341,812	341,812	0	前年度繰越金
雑収入	149,688	0	149,688	172,394	22,706	

2. 支出の部

(単位 円)

項目	予算額	補正流用額	予算現額	執行済額	増減	摘要
体協費	17,080,000	0	17,080,000	16,865,536	214,464	
運営費	17,080,000	0	17,080,000	16,865,536	214,464	
事務局費	2,390,000	0	2,390,000	2,352,861	37,139	
事業費	13,673,000	0	13,673,000	13,512,675	160,325	
積立金	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0	積立金合計6,177,386
予備費	17,000	0	17,000	0	17,000	

1. 収入の部	予算額	17,080,000円	決算額	17,137,706円
2. 支出の部	予算額	17,080,000円	決算額	16,865,536円
3. 差引額			差引金額	272,170円

平成 6 年度 藤沢市 体育協会 行事予定

月	主 催 事 業	県総体・他団体主催事業	月	主 催 事 業	県総体・他団体主催事業
4	21. 理事会・評議員会	29. 市民ウォーク		10. 体育の日 2. ゲートボール 23. 空手道 30. ヨット	1. 市条例に基づく表彰 29~11.3 国体秋季大会(名古屋) 6. 秋葉台文化体育館開館 10周年記念日
5	15. ソフトボール(3.19迄) …市民総体 28. 厚木市体育協会視察 賛助会員募集開始	5. 子供スポーツデー	10	29~31 国体視察(愛知)	
6	12. 軟式野球(7.17迄) …市民総体 28. 常任理事会				
7	22. 理事会 ふじさわ体協第27号発行 22~24 補助金交付 3. バドミントン 10. バレーボール予選 17. 卓球 17. 弓道 24. バスケットボール(31迄) 29~31. 山岳(長野県宝剣岳) 31. ボウリング		11	常任理事会 ふじさわ第28号発行	3. 教育文化功労者表彰 20. 第3回藤沢市綱引き選手権大会 27. ハンドボール日本リーグ
8	14. テニス(9.11迄) 18. 体操 21. サッカー(10.11迄) 21. 剣道 12. ゴルフ	14.21 県総体夏季大会<ソフトボール> 21. 県総体夏季大会<ソフトテニス、水泳> 14. スイム'94 15. 子供水泳大会	12	18. ハンドボール(25迄) …市民総体	4. バスケットボール日本リーグ 11. 市内駅伝競走大会
9	4. 常任理事会 地区対抗本大会 …市民総体 <陸上・バレーボール・ソフトテニス> オープン競技 …市民総体 4. 柔道 4. ラグビーフットボール 4. クレー射撃	4. 体力づくり功労者表彰 3~6 第49回国体夏季大会 18.25 県総体秋季大会<バドミントン・クレー射撃・バレーボール・軟式野球・サッカー・バスケット・陸上・卓球・柔道・剣道・弓道>	1	体協加盟種目競技協会会長会 常任理事会及び藤沢スポーツ賞 選考委員会 未定 スキー(五竜とおみ) …市民総体	三浦半島駅伝競走大会
			2	理事会 18. 第10回スポーツ人の集い (藤沢市民会館)	12. 都市対抗駅伝競走大会 19~22 国体スキー(猪苗代) 県総体冬季大会 スキー
			3	常任理事会 ふじさわ第29号発行	

平成 6 年度 藤沢市 体育協会 収支予算

1. 収入の部

(単位 円)

項 目	予 算 額
体 協 費	17,230,000
体 協 費	17,230,000
補 助 金	5,680,000
委 託 料	9,059,500
賛 助 会 費	1,500,000
負 担 金	562,500
繰 越 金	272,170
雑 収 入	155,830

2. 支出の部

(単位 円)

項 目	予 算 額
体 協 費	17,230,000
運 営 費	17,230,000
事 務 局 費	2,350,000
事 業 費	13,829,500
積 立 金	1,000,000
予 備 費	50,500

“シンボルマーク”



あたたかな表情
で、未来に向かっ
て走り、長い手
足で多くの夢を
つかんで、生き
走り、とぶよう
すを表している。

標語「おお汗・こ汗」
スポーツの原点である「汗」を
強調し、実り豊かな国体を実現
するよう、すべての人が健康で
いきいきと暮らせるよう、願
いをこめたもの。

愛称「かながわ・ゆめ国体」
かながわの21世紀の「ゆめ」を国
体に託したもの

平成10年に神奈川県で開催される
第53回国民体育大会の気運の高揚と、
県民参加による国体づくりをはかる
ため活用しています。

最近県下でよくみかける
この「マーク」この「標語」

ご存知ですか？